

1部 :

信者の祈り (ルカ 11:1-13)

クリスチャンの祈りは宗教の祈りと何が違うのか。

1. 信者の自分は誰なのかを改める。

- 1) ローマ 5:17
- 2) ローマ 8:2
- 3) ローマ 3:16
- 4) エペソ 1:3
- 5) ピリピ 3:20
- 6) マタイ 28:20
- 7) ローマ 8:28

2. 祈りの内容修正

- 1) 宗教、律法、ご利益(自分中心)
- 2) 神様の栄光を(救いの神様、三位一体の神様)
- 3) 神様の願い(神の国)
- 4) 欲と心配に流されないように(日々の糧を)
- 5) 過ちと失敗に溺れないように(自他の弱さ)

3. 答えを信じる信仰の祈り

- 1) 頼み続けるなら、なおのこと天の父が
- 2) ヨハネ 14:13、16:23-24、マルコ 11:24、ヤコブ 5:15
- 3) 通りの答え、より良いものを、無答え

祈る前に、イエス様を信じている自分は誰なのか、未信者と何が違うのかを深く默想して、感謝し喜び、幸せを確認しよ

う！

神様の願い(神の国)に祈りのフォーカスを合わせて、使徒 1:7-8 を握ろう！時間を定めて祈り、すべての出会い、仕事、出来事で自分の考えに流されず、神の計画を問い合わせ祈ろう！

2部 : インマヌエル教会 1部

天に蓄えられている望み (コロ 1:1-8) □

□序論_天に蓄えられている望み

1. 歴史上、最も大きな影響を与えたパウロ
※パウロに働きかけた神様が私と私たちの教会に働きてください。切実に祈らなければならない。

2. 天に蓄えられている望み- 望みがあれば、耐えることができて、待つことができて、正確な望みは成就する

3. 福音の真理のみことばが天に蓄えられている望み

□本論_この望みを堅く握れば起こること

1. 私ののろいとわざわいが退くようになる。

1) 私たちが、のろわれなければならないのに、神様が恵みを与えてくださり、それゆえ、わざわいがなくなったのが平安(2節)

2) この恵みを知らないので、のろわれて次世代にわざわいを残したユダヤ人-7時代、ムスリム、共産主義

3) あなたがたのために祈るたびに神様に感謝(3節)

2. 全世界に臨むのろいとわざわいを止めることになる。

1) 天下にのろい、わざわいを止める福音

(6節) - アブラハムに約束

2) イエス様の約束-マタ 28:18-20 あらゆる国の人々、マコ 16:15-20 万民、使 1:8 地の果て

3) パウロとそのチームに与えられたこと-ロマ 16:25-27 世々にわたって隠されていたこと、とこしえまであることを今、あなたがたに

3. 次世代に臨むのろいとわざわいを止めることになる。

1) 神の国について 40日間説明されたことを与える。

2) 御座のやぐら、旅程、道しるべ

3) 礼拝・祈りの時間に臨む神の国、教会・現場・家に成り立つ神の国のこと

□結論_福音の真理のみことば

1. 聖書の核心- 信仰の結論はたましいの救い(ペテ 1:9)

1) 創 3:15 女の子孫 2) 出 3:18 羊の血

3) イザ 7:14 インマヌエル

4) マタ 16:16 キリスト

2. マタ 16:20 オリーブ山で重要なみことばを与えられる前には話してはならない

いと言われたイエス様

1) 公生涯 3年- 変えること

2) カルバリの丘- 完了した。ここから始まらなければならない。

3) オリーブ山- 御座のやぐら、旅程、道しるべ

(1) 私の中に神様のやぐらを建てなさい -7 やぐら- 100%準備

(2) 私が行く道に主がともにおられる-7 旅程- 100%現場

(3) カルバリの丘からローマまで-7 道しるべ- 100%システム準備

3. 三つの庭、金土日時代、黙想時代 24、25、永遠

なぜ 40 日間集中させたのか。金土日時代を開きなさい。なぜマルコの屋上の部屋で恵みを受けるようにされたのか。黙想時代を開きなさい。神様の力でなければならない。

癒やしなさい。レムナントが来て力を受けるようにしなさい。それで 24 しなさい。すると 25 という神の国が臨む。永遠という神の国のが成し遂げられる。

1部-ルカ 11:1-13 信者の祈り

なるほど /

キリストにある信者が誰なのかを改めて、自分中心の祈りから神様の栄光と願いを祈りの内容にして、必ず答えられることを信じて祈ることが信者の祈りである。

ならば /

信者の自分と未信者は何が違うかを深く黙想して感謝し、神の国に祈りのフォーカスを合わせて、使徒 1:7-8 を握って祈ろう！